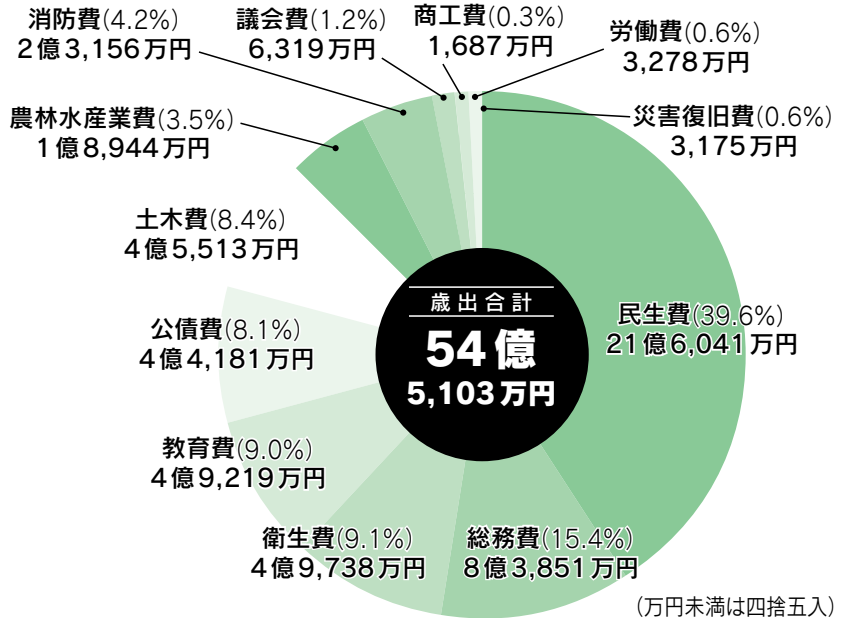


歳出

平成28年度の一般会計の歳出は54億5,103万円でした。

民生費21億6,041万円は、臨時福祉給付金や障がい者の自立支援給付などに使われました。総務費8億3,851万円は、情報セキュリティ対策などに使われました。教育費4億9,219万円は、小中学校における30人以下の学級編成による授業の実施など、土木費4億5,513万円は、桂川駅周辺の整備や、町営住宅の建設などに使われました。



特別会計

(単位: 万円)

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額
住宅新築資金等貸付事業	2億2,784	2億2,612	172
土地取得	9	9	0
国民健康保険	19億8,857	20億6,233	△7,376
後期高齢者医療	1億7,450	1億7,278	172

※国民健康保険特別会計の赤字額7,376万円は、平成29年度からの繰上充用金で補てん

◇特別会計…特定の事業を行うために一般会計と区分して設置、収支を行う会計

水道事業会計

(単位: 万円)

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額
収益的収支	2億2,847	1億9,279	3,568
資本的収支	0	3,240	△3,240

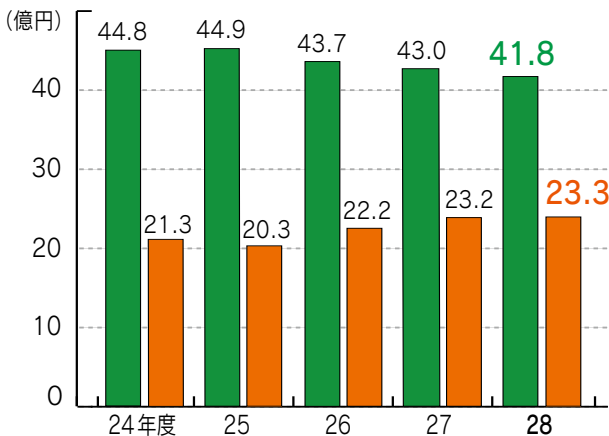
※資本的収支不足額3,240万円は、以下より補てん

- ・当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額…108万円
- ・過年度分損益勘定留保資金…1,122万円
- ・当年度分損益勘定留保資金…2,010万円

◇収益的収支…企業の経営活動によって発生する収入と支出。水道料金収入や浄水場の維持管理費などが該当

◇資本的収支…施設の建設改良に関する投資的収入と支出。国庫補助金や施設の建設改良費などが該当

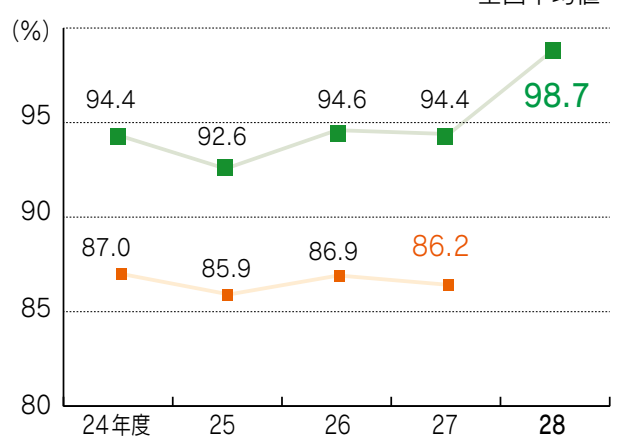
地方債・積立金



◇地方債…年度を越えて返済する借入金

◇積立金…特定の目的のために活用できる町の貯金

経常収支比率



◇経常収支比率…必要経費を経常一般財源で割った指数。

比率が低いほど自治体が財源を自由に使える割合が増える